



スターツはなぜ、免震住宅に アートを設置するのか。

江戸川区一之江。敷地にパブリックアートを設置しているマンションがあります。この街をもっと愛される街にしたい。スターツで賃貸住宅を建てたオーナーひとりひとりの気持ちをつないで、一之江アートプロジェクトがはじまりました。人がアートになじみ、アートが街になじむころ、きっといまよりこの街が好きになる。そう信じて、街が動きはじめています。

スターツで免震住宅を建てるオーナーには、井戸の設置もお願いしています。万が一のとき、飲用水は配給されますが、トイレの水は自分で確保しなければなりません。そこにだれもが使える井戸があれば、どんなに心強い街になることか。免震住宅は災害に強く、被災した地域の人々が集まる場所にもなります。あのアートに集まろうね。安心の目印なのです。

相続や資産継承にアートや井戸は必要ないと思われるかもしれませんが。たしかにスターツは、技術を究め、品質にこだわり、未来まで価値が続く建物をつくっています。しかし、それでは不十分。真の土地活用とは、建ててからさらに価値が高くなることです。いい建物づくり × いい街づくり。スターツが土地活用を考えると、その視線は、未来の先を見ています。

スターツの土地活用学